



# 月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043(222) 7207 番  
※ 電話番号は4月29日から変更になります

92.6.11 No. 3607

## アジア侵略のPKO法案うち砕け!

# 6.14へ全力結集を!

PKO協力法案は、九日午前一時五十七分多くの反対の声を押し切つて、自民・公明・民社三党の賛成で参院本会議で可決され、衆院へ送られた。そして九日午後自・公・民三党は、衆院本会議での趣旨説明をおこなわずに、抜き打ち的に「国際平和協力特別委員会」への法案付託を強行、夕方には同委員会での政府案と三党共同修正案の趣旨説明を強行した。自・公・民三党は、今週中にも一気に法案の可決、成立まで持ち込もうと狙っている。

もはや一刻の猶予もならない正念場を迎えている。国会の会期はあとわずか、衆院での強行可決阻止へ、全力でPKO法案反対、自衛隊の海外派兵阻止!の声を大きくまきおこそう。六月十四日、東京・明治公園で開催される反戦共同行動委員会の全国総決起集會に結集しよう。

政府・自民党は、一貫してこのPKO協力法案をもって自衛隊の海外派兵を策動してきた。そもそも憲法第9条に違反している自衛隊が、第二次大戦敗戦後四十七年にして、公然と海外派兵に出動するという、戦後の日本のあり方そのものを、根底からひっくりかえす重大な攻撃である。「国連」の名を使おうが、「国際貢献」と言おうが、自衛隊がわがもの顔でアジアや世界をのし歩くことは、日本が経済だけでなく、軍事・政治の分野まで「大国づら」をして振る舞うということなのだ。しかもカンボジアのPKOが具体的に開始するなかで、日本がそれに乗り遅れないために、今国会での強行成立を強引に進めているのだ。

政府・自民党は、公明・民社をだきこんで、「修正」しようが何としても、自衛隊の海外派兵を既成事実化しようとする。どんなに「修正」されようが、一旦海外に派兵できれば、あとはどうにでもできると自民党は思っているのだ。すでに自衛隊は「事前研究」と称して、具体的にカンボジア出兵の準備を始めていることをマスコミは報道している。

「人殺し法案」に妥協はない  
衆議院議員 上田 哲  
自衛隊の海外派兵をもくろんでいたのを、この間にたたかいて押し返すことになりました。  
戦後半世紀の政治体制を根本的に変える問題です。PKOは廃案しかありません。「人殺し法案」に「殺し方」の対案などありえません。他のどこで妥協しても、ここだけは絶対に妥協できません。最後に決めるのは世論の力、市民運動の高揚です。勝利は目の前。頑張りましょう。



## 連日!怒りの国会 デモがたたかわれている

PKO法案反対を叫んで国会前をデモ行進する反PKO集會参加者たち=9日午後7時半



万人の労働者が日民谷・国会前に6/9